

いせ



第62号

令和3年2月15日号

発行／伊勢市議会
編集／議会のあり方調査特別委員会
広報検討分科会

市議会だより

題字 佐八小学校6年 濱地 楓羽 さん



主な記事

- 議長・副議長の就任あいさつ 2ページ
- 常任委員会等委員紹介 3ページ
- 審議した主な議案の内容 4ページ
- 市政を問う（議案質疑・一般質問）... 6～13ページ
- 伊勢市の新型コロナウイルス感染症対策... 14～15ページ
- 伊勢市駅前再開発ビルへの入居 16ページ

「“とこまる”のおひなさま」

市内在住の方にご投稿いただきました。

撮影日 2020年2月4日

「昨年のおひなさまめぐり in 二見で飾られていた三重とこわか国体・三重とこわか大会マスコットキャラクター“とこまる”のおひなさまです。」

今年のおひなさまめぐり in 二見は新型コロナウイルス感染症対策で規模を縮小しますが、令和3年2月4日～3月7日の期間で開催予定です。

議会の新しい体制がスタートしました

令和2年12月市議会定例会の概要

議長に浜口和久議員、副議長に吉岡勝裕議員、監査委員に辻孝記議員

12月定例会を12月7日から23日までの17日間の会期で開会しました。

12月8日に議長および副議長の選挙を行い、議長に浜口和久議員、副議長に吉岡勝裕議員を選任、また同日、議会選出の監査委員として辻孝記議員を選出しました。

翌9日には、常任委員会委員、議会運営委員会委員の選任等を行いました。(各委員会委員の一覧は、3ページに掲載しています。)

議長・副議長の就任あいさつ

議員全員参加型の議会改革を進め、議会の活性化に取り組みます



浜口 和久
議長



吉岡 勝裕
副議長

市民の皆さまには、日ごろから市議会の活動にご理解とご協力をいただき、心から感謝を申し上げます。

このたび、私も両名は、12月市議会定例会におきまして、議長、副議長に就任いたしました。微力ではございますが、皆さまの信頼に応えられるよう、誠心誠意全力で職務を全うしてまいります。

令和2年当初より、新型コロナウイルス感染症の影響で経済活動や市民の社会生活形態も様変わりする中、伊勢市議会では、新型コロナウイルス対策会議の設置、各種団体との懇談会、市長への要望、市民アンケートの実施、議会へのタブレット端末の導入など様々な対応をとってまいりました。

今後は、社会生活の急な変化に対応し、柔軟な議会運営をしていかなければなりません。これまで同様、議員全員参加型の議会改革を進め、議会改革の流れを止めることなく、議会の活性化に取り組んでまいります。

また、今年には第76回国民体育大会「三重とこわか国体」・第21回全国障害者スポーツ大会「三重とこわか大会」が開催される予定です。新型コロナウイルス感染症の先行きは不透明ではありますが、盛り上がる大会となるよう、市民の皆さまとともに議員一同努力してまいります。

議会選出の監査委員



辻 孝記
監査委員

12月定例会の概要

12月定例会では、市長から「令和2年度伊勢市一般会計補正予算(第9号)」をはじめとする45議案が提出され、本会議、各常任委員会において慎重に審議した結果、各議案を原案どおり可決、同意、そのほか発議3件を可決しました。

主な議案の内容は4ページ、議決結果は4〜5ページ、議案質疑・一般質問の詳細は6〜13ページをご覧ください。

「令和2年度伊勢市一般会計補正予算(第10号)」では、伊勢市駅前B地区再開発ビルへの市の保健福祉拠点施設の入居に必要な経費の審査を行いました。今定例会で補正予算が提出されたことで、関連する内容の議案質疑・一般質問が9件行われました。

詳細は裏表紙をご覧ください。

常任委員会等委員紹介

12月定例会において、常任委員会等の委員を選任しました。委員の構成は次のとおりです。常任委員会および議会運営委員会委員の任期は、令和2年12月12日から令和3年11月26日までとなります。

◎委員長（会長） ○副委員長（副会長） （委員は議席順）

常任委員会

◇総務政策委員会◇

市の総合計画や行政改革、防災、税に関することなど、行政の基幹的事項を審査します。

◇継続調査案件

- ・ 防災対策に関する事項
- ・ ふるさと未来づくりに関する事項
- ・ 公共施設マネジメントに関する事項
- ・ 総合計画推進事業に関する事項

- ◎小山 敏
- 山本 正一
- 鈴木 豊司
- 福井 輝夫
- 品川 幸久
- 藤原 清史
- 西山 則夫

◇教育民生委員会◇

ごみなどの環境問題、健康、福祉、病院、教育などに関する事項を審査します。

◇継続調査案件

- ・ 伊勢市病院事業に関する事項
- ・ 伊勢市立小中学校の規模・配置の適正化に関する事項
- ・ 子ども子育て支援に関する事項
- ・ 保健福祉拠点施設の整備に関する事項

- ◎吉井 詩子
- 久保 真
- 中村 功
- 上村 和生
- 楠木 宏彦
- 野崎 隆太
- 世古 明
- 吉岡 勝裕

◇産業建設委員会◇

農林水産、商工、観光、交通、都市計画、上下水道などに関する事項を審査します。

◇継続調査案件

- ・ 中心市街地活性化に関する事項
- ・ 観光交通対策に関する事項
- ・ 地域公共交通に関する事項

- ◎北村 勝
- 宮崎 誠
- 井村 貴志
- 野口 佳子
- 岡田 善行
- 辻 孝記
- 宿 典泰
- 世古 新吾

議会運営委員会

◇議会運営委員会◇

議会の運営、議会の会議規則や委員会条例等の改廃および議長との諮問に関する事項を審査します。

- ◎岡田 善行
- 久保 真
- 宮崎 誠
- 中村 功
- 北村 勝
- 楠木 宏彦
- 野崎 隆太
- 品川 幸久
- 西山 則夫

議会のあり方調査特別委員会

◇特別委員会は、浜

口議長を除く23名の議員で構成し、3つの分科会で専門的に協議・検討を行います。

- ◎西山 則夫
- 品川 幸久
- ほか議員21名

◇条例等検討分科会◇

議会基本条例等に関することを調査・検討します。

- ◎福井 輝夫
- 辻 孝記
- 中村 功
- 上村 和生
- 世古 明
- 藤原 清史
- 宿 典泰
- 世古 新吾

◇広報検討分科会◇

議会の情報を発信する広報に関することを調査・検討します。

- ◎吉井 詩子
- 久保 真
- 宮崎 誠
- 北村 勝
- 鈴木 豊司
- 岡田 善行
- 品川 幸久
- 小山 敏

◇広聴検討分科会◇

市民の声を聴く広聴に関することを調査・検討します。

- ◎吉岡 勝裕
- 楠木 宏彦
- 井村 貴志
- 野崎 隆太
- 野口 佳子
- 西山 則夫
- 山本 正一

※浜口和久議長は議長職のため、総務政策委員会委員を辞退しています。

審議した主な議案の内容

令和2年度補正予算

▽令和2年度伊勢市一般

会計補正予算(第9号)

6億1956万円

総務費

ふるさと応援寄附推進事業

6849万円

ふるさと応援寄附金の増額が見込まれることから、返礼品の調達等に必要経費を増額。

民生費

保育環境改善事業

651万2千円

保育施設での使用済紙おむつは現在保護者が持ち帰っているが、令和3年4月から各施設において処分をするため、必要な備品の購入経費を増額。

商工費

新型コロナウイルス感染症

拡大阻止協力金

2868万6千円

三重県と協調して交付する協力金が見込みを超えるため、三重県への負担金を増額。

▽令和2年度伊勢市一般

会計補正予算(第10号)

1530万円

民生費

保健福祉拠点施設の入居に必要な内装工事の設計経費を増額。

債務負担行為

保健福祉拠点施設の20年間分の賃借料22億6330万円

の債務負担行為を設定。

▽令和2年度伊勢市一般

会計補正予算(第11号)

6858万3千円

民生費

新型コロナウイルス感染症対策として、7月に支給した「ひとり親世帯臨時特別給付金」を再度支給するために必要な経費を増額。

◆◆◆ 審議した案件と結果 ◆◆◆

11月臨時会

全会一致の案件

【報告された案件】

報告第 14 号	専決処分事項の報告(物損事故)	承認
----------	-----------------	----

11月臨時会

賛否の分かれた案件

議員名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	20	21	22	23	24	25	
議員名	宮崎	久保	中村	井村	上村	北村	楠木	鈴木	野崎	吉井	世古	野口	岡田	福井	辻	吉岡	品川	藤原	西山	小山	浜口	山本	宿	世古	
議員名	誠	真	功	貴志	和生	勝	宏彦	豊司	隆太	詩子	明	佳子	善行	輝夫	孝記	勝裕	幸久	清史	則夫	敏	和久	正一	典泰	新吾	
議案番号	案件名												審議結果												
議案第117号	伊勢市職員給与と条例等の一部改正												賛成多数 原案可決												
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

・○は賛成、×は反対。世古議長は通常採決に加わりません。

12月定例会

全会一致の案件

【議案】

議案番号	案件名	審議結果等
議案第 118 号	令和2年度伊勢市一般会計補正予算(第9号)	原案可決
議案第 119 号	令和2年度伊勢市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	原案可決
議案第 120 号	令和2年度伊勢市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第 121 号	令和2年度伊勢市介護保険特別会計補正予算(第3号)	原案可決
議案第 122 号	令和2年度伊勢市観光交通対策特別会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第 123 号	令和2年度伊勢市病院事業会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第 124 号	令和2年度伊勢市水道事業会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第 125 号	令和2年度伊勢市下水道事業会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第 126 号	伊勢市市税条例の一部改正	原案可決
議案第 127 号	伊勢市税外収入金の督促、延滞金及び滞納処分に関する条例等の一部改正	原案可決
議案第 128 号	伊勢市介護予防拠点施設なごみのやかた条例の廃止	原案可決
議案第 129 号	伊勢市火災予防条例の一部改正	原案可決
議案第 130 号	伊勢市立公民館の指定管理者の指定	原案可決
議案第 131 号	伊勢市学習等共用施設の指定管理者の指定	原案可決
議案第 132 号	伊勢市福祉健康センターの指定管理者の指定	原案可決
議案第 133 号	伊勢市ハートプラザみその指定管理者の指定	原案可決
議案第 134 号	伊勢市児童館の指定管理者の指定	原案可決
議案第 135 号	伊勢市放課後児童健全育成施設の指定管理者の指定	原案可決
議案第 136 号	伊勢市おひさま児童園の指定管理者の指定	原案可決
議案第 137 号	伊勢市みなとふれあいセンターの指定管理者の指定	原案可決
議案第 138 号	伊勢市二見健康管理増進センターの指定管理者の指定	原案可決

11月臨時会を開会

令和2年11月臨時会を11月27日に開会しました。「伊勢市職員給与条例等の一部改正について」ほか1件が提出され、本会議、常任委員会において、慎重に審議した結果、原案どおり可決、報告1件を承認しました。

審議した主な議案の内容

▽伊勢市職員給与と条例等の一部改正

人事院勧告に準じ、職員および任期付職員の期末手当を引き下げるため、条例を改正するもの。



市議会議長選挙開票 (12月8日)

12月定例会日程

- 12月7日 本会議 (議案の提案説明等)
8日 本会議 (正副議長選挙等)
9日 本会議(常任委員会)
14日 議会運営委員会
15日 本会議(一般質問)
16日 本会議(一般質問)
17日 産業建設委員会
18日 教育民生委員会
21日 議会運営委員会
23日 本会議(議案採決等)

Table with 4 columns: 議案番号, 内容, 審議結果. Lists various municipal cases such as '指定管理者の指定' and '伊勢市児童発達支援センター'.

議案第 29 号 伊勢市議会委員会条例の一部改正 原案可決

12月定例会 賛否の分かれた案件

Table with 25 columns for council members and rows for cases like '令和2年度伊勢市一般会計補正予算(第10号)'. Shows approval (O) or opposition (X) for each member.

議案第 30 号 伊勢市議会議員政治倫理条例の一部改正
議案第 31 号 議案第160号令和2年度伊勢市一般会計補正予算(第10号)に対する附帯決議

請願第 2 号 政府に消費税減税を求める意見書提出に関する請願 賛成少数 不採択

○は賛成、×は反対。浜口議長は通常採決に加わりません。

市政を問う

12月定例会では、12月14日から16日の3日間および23日に4人の議員が議案質疑を、10人の議員が一般質問を行いました。
質問と答弁の内容を要約してお知らせします（発言順に記載）。

議案質疑 …予算、条例等の議会に提出された議案の内容について質問をすること

一般質問 …市の事業、諸課題、将来の方針等、市政全般について質問をすること

動画配信について

議案質疑・一般質問ページにおいて、YouTube を利用した録画放送へリンクする二次元コードを掲載しています。各議員の掲載記事欄にある二次元コードをスマートフォンやタブレットで読み取ると、その議員の動画が視聴できます。

議案質疑

議案第144号～150号

伊勢市児童発達支援センターの鳥羽市民の利用に関する協議ほか6件

新たに設置する児童発達支援センター「おおぞら児童園」の運営について

答 伊勢志摩の圏域内において、お子さんの発達の促進を図る



鈴木豊司 議員
(洗心)



問 「おおぞら児童園」の他市町の住民利用に関する協議と「伊勢志摩定住自立圏共生ビジョン」との整合性は。

答 圏域各市町で計画があるなか協議を重ね、連携市町での設置となった。

問 伊勢市の「公の施設」を他市町の住民が利用する際に、自治体間の協議を必要とする場合と必要としない場合の根拠はどこにあるのか。

答 「おおぞら児童園」のように特定の方の利用に関しては協議を必要とし、「図書館」、「休日・夜間応急診療所」のように、公衆、

不特定多数の皆さんが利用する場合の協議は必要でないと考えます。

問 協議における「利用の条件」と「経費の負担」での記述『その他の規程』は、適切と考えるか。

答 『その他規定』ではとの指摘であるが、法形式の使用に準じて用いたもので、条例、規則その他運営に関する規程を想定している。

※伊勢志摩定住自立圏共生ビジョンとは。

「伊勢市」と「鳥羽市」、「志摩市」、「玉城町」、「度会町」、「大紀町」、「南伊勢



第2次伊勢志摩定住自立圏共生ビジョン

町」および「明和町」が、1対1で「伊勢志摩定住自立圏形成協定」を締結のうえ、共通する課題を連携・協力して解決し、圏域全体で人口定住のために必要な生活機能等の確保を図ることを目的とする計画である。

議案第160号

令和2年度伊勢市一般会計補正予算(第10号)

イベント時の駐車場利用について供用をどうするか

答 事業者と事前に調整し、周知するなど対応を図ってまいりたい



野崎 隆太 議員 (野崎りゅうた)



問 本議案は伊勢市駅前再開発ビル、いわゆるB地区に現在建設中のビルに市が入居するための補正予算である。平成27年より既に5年の年月が経過をし、ようやく議案として提出をされた。この間、様々な会議で審査がされてきた。にもかかわらず、議案質疑2件、一般質問中7件が伊勢市駅前再開発事業、また福祉拠点の入居に集中をする異例の状況である。理由はそれぞれの会議の場において、行政当局が適切に説明をしきれなかったからではないか。それを踏まえ議案提出に当たり、改めて質疑をさ

せていただく。市長提案説明について改めて詳細を伺いたい。

答 歳出では内装工事に係る設計委託料1530万円、賃貸借契約締結後の契約期間中に発生する20年間分の賃料、22億6330万円を債務負担行為に計上している。なお、駐車場確保は施設使用上重要で、今後施行者としてしっかり調整をしていきたい。保健福祉拠点施設は「切れ目のない福祉の提供」、「誰一人取り残さない、断らない相談」を実現できる体制を整備することとし、整備効果は令和元年度実績から年間4万3000人の

議案質疑

方の来所を想定している。駅前周辺の人の動きは観光客を中心に活発になっており、B地区だけでなく、今後C地区の整備も進めば今までの以上にぎわいが創出されると期待をしている。



伊勢市駅前再開発ビルからの眺望

議案第160号 令和2年度伊勢市一般会計補正予算(第10号)

地方自治法どおり最小の経費で最大の効果を上げるべきでは



答 貴重な市税の活用を慎重に行わなければならない

岡田 善行 議員 (志誠会)



問 1階と上層階では賃料の差額が1.5倍から2倍。賃貸住宅は内装費込みで一坪7150円。当市は内装に4億7000万円かけ賃料は一坪8400円。当市の賃料が高額。当市と公的機関が不利な賃料比率となっているがどう考えるか。

答 不動産鑑定に基づく適正なものと考ええる。

問 事業用ニーズがないテナントだが、賃料はプレミアム価格と考えるか。

答 プレミアムとは考えない。

問 融資が決まれば銀行から融資証明書を発行できるが要請したのか。

答 提出は求めている。

問 コンサル側当初資料の銀行融資について確認があったのか疑問に思える。当初より経費もかなり増額。不透明な経費を認めて契約を結ぼうとしているのか。

答 収支計画は金融機関で審査されている。個々の経費の精査は今後、確認する。

問 18億円の交付金を投入する予定なのに建設費の12億円が資金ショート。その12億円も伊勢市が負担。62%程の建築費が一度は税金で支出される予定。普通の企業なら倒産確定。私もあればよい施設だと思っ。運営側が破綻しないよう厳しい交渉ができず、当初より金額も増加し、相手の要求をのむものになったのは残念。市長と市幹部の苦悩とジレンマは計り知れないものと思うが、私の見解を聞き、当局の意見は。

答 今後慎重に進めたい。



市役所から望む伊勢市駅前再開発ビル

議案質疑

発議第31号

議案第160号 令和2年度伊勢市一般会計補正予算(第10号)に対する附帯決議 ※提案者に対する質疑

附帯決議は法的拘束力はなく、希望を言ったにすぎないが認識は

行政が監視と指導をしていくことを求めていく



宿 典泰 議員 (政友会)



議案に反対の立場で申し上げると、この附帯決議は法的拘束力がないので希望を言っただけであるが、2点目の駅前ビルの将来的な健全経営は、行政側に申してもどうすることも出来ないが、どのように捉えているのか。

行政として常時監視し、また指導もしていくことを求めるものである。

4点目の市民に事業内容や費用対効果などの説明を十分行うことは、どの場所でも市民に説明すると捉えているか。

市当局に対して、これ

からいろんなやり口ということでも議論もしていきたい。2点目については、行政には委ねても限界があるて希望の話に収まってしまっているのか。全体の総事業費が示されていない中で費用対効果の認識を教えてください。

費用対効果という部分についてはこれから示されるものもあるかと思う。そのことも判断させていただき、説明していただきたいと思っている。今の段階ではそれ以上のことは言えないので、御理解いただきたい。

御理解いただきたい。

附帯決議の内容は、裏表紙をご覧ください。



発議第31号採決の様子

内宮周辺の大渋滞、解消に向けてどのような対策をとっているのか

市道中村楠部 17-1 号線が完成すれば渋滞緩和に繋がると考える

久保 真 議員 (勢風会)



市道中村楠部 17・1 号線とはこの事か。

国道 23 号から新設される道路で、国道 23 号と県道館町通線を結ぶ道路である。

混雑時の市道中村楠部 17・1 号線の供用の仕方は。

地元の中村町、楠部町の住宅地へ車の流入が発生しない様にする。

交通量の増加が見込まれる新しい道路が住宅地を囲む様な形になるが、通学時の子供の安全は守られるのか。

新しい道路を横断する地域住民や登下校時の児童の安心安全の確保のためにも横断歩道を設置する。

観光誘客のためにとった新たな施策は何か。

コロナ禍で安心して伊勢の地に来て頂けるよう、市内約 50 力所に手指消毒液を設置し、感染防止対策を実施している。また、平日の来訪を促すため、内宮周辺の市営駐車場の平日 4 時間の無料化等を実施する。

伊勢の魅力をどのよう

一般質問

に発信するのか。

クリエイターの方々に滞在の様子や伊勢の情報を SNS で発信して頂いている。また創作活動を通じ新たな出会いも創出されており、今後の来勢へ繋がりたい。

交通空白地における高齢者への支援は。進修まちづくりの会で取り組みが始まったが、これまでの公共交通に加え、勾配など地形的要因による交通不便地域を解消するため、より一層推進していく。



クリエイターズ・ワーケーション 促進事業に参加されている草木染職人

※クリエイター…クリエイターズ・ワーケーション促進事業(市外在住の文化・芸術分野のプロのクリエイターを公募、招聘し、市内で宿泊しながら、創作活動に取り組む機会を提供する事業)に参加の方々。

保健福祉拠点施設での取り組みは

答 総合的な相談と支援の充実を図る



野口佳子 議員
(志誠会)



問 相談支援体制の考えは。

答 保健師、保育士、社会福祉士、主任ケアマネジャー、計画相談員などの専門員を

配置し、介護や障がい、経済

的な問題など、それぞれの

分野が一体となり、総合的に

必要なサービスにつなぐ。

問 令和三年度から始まる

重層的支援体制整備事業とは。

答 住民が抱える複雑化した課題に対応する断らない

支援体制を整備する。事業

に対する交付金は一括して

交付され、横断的に柔軟な

運用が可能、費用の効率化

と事務負担の軽減も図れる。

問 地域活動や地域づくり

にどのように関わっているのか。

答 「つなぐ」仕組みの強化・

充実をしていく。保健福祉

拠点施設を整備し、相

談体制を充実し、福祉向上

に努める。

問 農業の担い手対策について

答 担い手が農地を借り受け、

耕作できる状態に回復する

ための取り組みに対して支援

を行う。農地の集積、集約

化をさらに進めていきたい

と考えている。

問 コロナウイルスの影響

が大きかった切り花を購入

しての生産者支援は。

答 小中学校、保育所、こ

ども園、介護施設など延べ

424カ所に展示し、生産者

支援とPRを行った。

問 コロナウイルスの影響

が大きかった切り花を購入

しての生産者支援は。

答 小中学校、保育所、こ

ども園、介護施設など延べ

424カ所に展示し、生産者

支援とPRを行った。

一般質問

深い悩みを持っている方を駅前に集めて賑わいは考えられない



答 来ていただくだけでなく連絡してほしい

品川幸久 議員
(信賞)



424カ所の施設に設置された切り花

問 子育て支援センターは

お母さんが子供を抱いて大

きな荷物を持って、まして

立体駐車場が上がって、エ

レベーターに乗り換え大変

だと思う。御園総合支所の

子育て支援センターは非常

に使いやすいと聞いている

が、いかがか。

答 利用しやすい誘導案内

をするなど工夫をしたい。

問 思いやり駐車場は各階

に1台と聞いたが足りるの

か聞きたい。

答 今後、協議したい。

問 八日市場から駅前に移

ることで、駐車場も含め不

便になるが、利用者の意見

を聞いたことがあるのか。

答 聞いたことはない。

問 ここに相談に来れば全

部できるのか。

答 今までと同じように高

齢者の相談は6カ所に配置

した地域包括支援センター

で、障害のある方の相談は

3カ所に配置した相談支援

センターで対応してもらう

場合によってはアウトリー

チをする。

問 市長の政策で悩みをも

っている方が減り、健康な

方が増える事は非常に良い

事だが、相談する人が少な

くなれば、中心市街地活性

化の賑わいが減ると言う相

反することになると思うが。

答 一旦流れを作れば、人

の流れは途切れることなく

続くと考えている。



伊勢市駅前再開発ビル

一般質問

駅前再開発ビルの経営について、客観的なデータはあるのか



楠木 宏彦 議員
(日本共産党)



【答】 施行者の収支計画と県の事業認可の資料等が根拠になっている

【問】 保健福祉拠点施設の必要性について認識を伺いたい。

【答】 福祉課題が複合化しており、相談体制の強化と支援の充実が求められている。

【問】 保健福祉拠点施設の利用者だけでなく、賃貸住宅の住民も利用する駐車場は129台で足りるのか。

【答】 不足が生じないように施行者と協議を進める。イベントや事業計画を見直し、来訪者の平準化を図る。

【問】 施設類型別計画は既成の施設の統合・建て替えを図るものだが、利用者の声は反映されているのか。

【答】 計画の見直しが必要なものについては、利用者のお話を伺うなどして進めていきたい。

豪雨災害への備えについて

【問】 豪雨災害への備えはどう進められているか。

【答】 「勢田川流域等浸水対策実行計画」が進められている。国・県・市が連携して、堤防のかさ上げ、ポンプ場・排水機場の能力増強を図っている。危機管理型水位計を設置し、市民がスマホなどで河川水位情報を確認できるようにしている。

【問】 雨水排水のための側溝の整備、清掃の要望が多い。どのように対応しているか。

【答】 自治会に清掃をお願いしているが、状況により市が対応している。側溝整備は自治会と現地確認し、改善策を講じたい。

重層的支援体制整備事業に取り組む効果は



吉井 詩子 議員
(公明党)



【答】 福祉分野を横断し柔軟な運用が可能になる



平成29年台風第21号で冠水した宇治山田駅周辺

【問】 計画的な事業が必要なのではないか。
【答】 現地確認し、予算要求して対応していきたい。

【問】 駅前保健福祉拠点施設に設置する基幹センターで実施予定の重層的支援体制整備事業については、令和3年度には駅前拠点に代わる形で実施していくとのことだが、どのように体制を構築していくのか。
【答】 市役所内に、総合相談体制を整え、分野横断的に同じ方向性を持つチームを編成したい。
【問】 重層的支援体制整備事業では、介護、障害、子育て、生活困窮といった事業の中の地域支援事業にあたる部分に対しての国からの補助金が一括化して交付されるが、そのメリットは何か。
【答】 それぞれを対象とした事業を統廃合することで費用の効率化を図る。また事務負担の軽減により相談支援を充実することができる。
【問】 ヤングケアラーや望まない妊娠などの今まで見えてこなかった課題を持つ相談しにくい人に対して、駅前拠点ではどのように支援していくのか。



伊勢市駅前再開発ビル

【答】 「声なき声」を早期に発見し、必要な支援に早期に繋ぐことが重要である。SNSなどを介した相談事業も進めたい。また居場所を設けるなど体制の構築を考えていきたい。駅前拠点においては女性相談機能も設置したい。
【問】 障害者の緊急時対応といった地域生活支援拠点の課題も対応できるのか。
【答】 総合相談機能の中でしっかりとコーディネートしたい。

保健福祉拠点施設整備に多額の費用を掛ける必要性が理解できない

【答】 2040年を前に「地域共生社会の実現」を目指していきたい



宿 典泰 議員 (政友会)



【問】 駅前ビルの3フロアの賃借料が20年間で22億6330万円予算計上されたが計算根拠を示されたい。

【答】 賃借料は月額1坪当たり税別8400円と共益費は賃料の10%を1・1倍し、20年間分を算出した。

【問】 繰越明許費として内装工事の設計費1530万円が予算計上されたが、内装工事費やその他備品購入費など総事業費は幾ら掛かるのか。

【答】 賃借料22億6330万円、内装工事費4億7000万円、設計費1530万円、管理委託料580万円、駐車場料金、什器備品費、引越費用等の総事業費は、32億8000万円となる。

一般質問

【問】 駐車場料金については、60台の月極から30分1000円の時間貸しとなった。利用者の駐車台数は十分確保されるのか。また、月額の負担額は幾らになるのか。

【答】 駐車台数は、利用状況がまだ不確定であり、問題が生じないよう協議している。また、月額負担額は100万円程度と積算している。

【問】 市長は、保健福祉拠点施設を整備することの必要性を説明されたが、現在、入居予定の福祉部門の費用や人員数、人件費など拠点化することでどのような費用対効果があるのか費用額で示されたい。

【答】 機能移転する職員は85人で必要数を見定めて決め

たい。関係機関との連携やICTの導入などにより効率化を図っていく。



伊勢市駅前再開発ビル

GIGAスクール構想による教育をどのように進めていくのか

【答】 協働学習等の充実を目指し伊勢市版のロードマップを作成する

西山 則夫 議員 (新政いせ)



【問】 新年度から全小学校、中学校の児童、生徒にタブレットが配備され、授業が進められていく事になるがその進捗はどうか。

【答】 3月上旬までにタブレット端末の配備を完了する。教員向けの研修や試行期間を設けて4月からスムーズに運用が開始できるよう準備を進めている。

【問】 教育現場では初の試みとなるが、今後に向けてのロードマップを作成するのか。

【答】 授業での興味・関心を高める一斉学習、端末の持ち帰り等による個別学習、意見交換等でお互いを高めあう協働学習の充実を目指した伊勢市版のロードマップを作成する予定である。

【問】 現在ICT支援員5名を配置し教育現場をサポートされているが、現状の体制では十分ではないか危惧する。今後の支援体制はどうか。

【答】 今後、国の基準に照らし合わせて学校を支援しようとするれば、5人程度の増

員も考えていく必要がある。
【問】 教育委員会の中にこの構想推進に向け専任担当者を配置、各学校と連携を図るうえで各校にも担当者の配置も必要だと思いませんか。
【答】 教育委員会内では、プロジェクトチームを立ち上げていく。各校には情報教育推進委員を配置しているので連携を強めていく。

その他の質問事項

● 旧市川造船資料について



タブレット端末を使用した授業

一般質問

不登校児童生徒がICT教材を活用した場合、出席扱いできるか



宮崎 誠 議員 (新政いせ)



定期的な家庭訪問と合わせ、出席扱いとする方向で準備を進めている

問 不登校児童生徒がICT教材による学習活動を行った場合、学校長独自での判断は難しいと考える。ガイドラインの必要性や判断基準を統一する考えは。

答 喫緊の課題と捉え、文科省のガイドラインに沿った形で本市のガイドライン作成に取り組んでいる。

問 不登校児童生徒がフリースクールなど民間施設を利用した場合、経済的支援をしている自治体もあるが、本市の考えは。

答 就学援助費の制度を参考とするなど経済的な制限を考慮し、可能な支援策を研究・検討していきたい。

問 地域生活支援の在り方についての考えは。

答 支援拠点の整備・施設利用体験など様々な生活の場の確保に努め、重層的支援体制の整備や支援体制の充実を図っていきたい。

問 「声なき声」への相談体制としてLINEなどSNSを活用する考えは。

答 電話やメールでの相談体制はある。今後、個人情報保護の観点を踏まえ早急に検討していきたい。

問 障害者手帳の発行や施設入所に関する手続き、利用などスムーズにできない

との相談への支援策は。
答 スムーズな手続きや施設利用に繋がるよう仕組みづくりを整えていきたい。



伊勢市駅前における再開発事業について問う



中村 功 議員 (志誠会)



賑わいの流れが戻ってきており、再開発で更なる賑わいにつなげたい

問 再開発事業の必要性は何か。

答 伊勢市駅前には空きビル状態が続いていたが、平成25年の式年遷宮を契機に、賑わいが戻ってきた。その賑わいを中心市街地全体に広げることが重要である。

問 保健福祉拠点施設の入居によるまちづくりのメリットは何か。

答 子どもから高齢者まで、幅広い世代の人の往来が創出され、A地区では宿泊施設による誘客、B地区では複合施設による交流、C地区では集合住宅による居住と3地区がそれぞれ効果を発揮することで、中心市街地活性化の一翼を担うと考えている。駅周辺に、少子高齢化社会に対応した行政機能、民間を含めた都市機能を集積し、市民生活利便性の向上や居住の促進を図ることに、誰もが安心して暮らせるまちを実現したい。

問 市が再開発ビルへ入居することによって、福祉をど

のように展開していくのか。
答 妊娠出産期から子育て、子どもの成長期を経て、成人・高齢期まで、全年齢を対象に切れ目のない支援につなげる拠点にしたい。
問 ハローワークとの連携は。
答 福祉部局とハローワーク、その一体的な支援体制により、就労支援につなげたい。



伊勢市駅前地区の将来図

寿バス券を使えない地域があると聞いているが

【答】地域の特性に応じた対応を考えさせていただきたい



野崎隆太 議員
(野崎りゅうた)



【問】バスが利用しにくくなったとの意見の詳細は。

【答】バス停の追加、ルート変更に伴い所要時間が増えた、乗り継ぎの時間調整の結果利用が不便になった、

なくなったバス停の再設置という意見を頂戴している。利便性、利用向上につながるよう、地域の意見も聴き

【問】寿バス券について現在の利用状況を伺いたい。

【答】75歳以上の高齢者の外出支援を目的とし、交付している。令和元年度は1万953名に交付し、交付率は51・1%、発行枚数における利用率が46・1%である。

【問】利用対象者全体の25%未満しか使われていない。

改善が必要ではないか。

【答】そのように考えている。

【問】寿バス券を何とかタクシーにも使えるようにという陳情が私の元にある。そういった意見はあるか。

【答】地区懇談会などでバスルートがない地域からは意見が出ている。

【問】利用率や効率を求めるほど、本来の交通弱者、公共交通を必要とする地域が取り残される可能性がある。実際、寿バス券を使う方法がないとの声も聞いている。ぜひともタクシー利用を研究していただきたい。

【答】全体的な移動支援をどうするか、その地域の特性に応じた対応ということを考えていただきたい。

一般質問

その他の質問事項

●伊勢市駅周辺整備構想について



議会日誌

11月

2日。広報検討分科会
10日。教育民生委員会・産業建設委員会連合審査会

12日。広報検討分科会
18日。各派代表者会議
20日。議会運営委員会
24日。産業建設委員会
。同協議会
。教育民生委員会・産業建設委員会連合審査会

11月
2日。広報検討分科会
10日。教育民生委員会・産業建設委員会連合審査会

25日。教育民生委員会
。同協議会

26日。総務政策委員会
。同協議会

27日。11月臨時会
。総務政策委員会
。議会報告会・意見交換会

30日。議会運営委員会
。同協議会

7日。12月定例会
。12月定例会

7日。広報検討分科会
。各派代表者会議

9日。企画調整部会
。議会のあり方調査特別委員会

15日。教育民生委員協議会

18日。広報検討分科会
。各派代表者会議

21日。教育民生委員協議会
。総務政策委員協議会

22日。広報検討分科会
。同協議会

27日。企画調整部会
。議員研修会

28日。議員研修会

29日。議員研修会

1月

市議会の会派の紹介

◎ 幹事長
○ 副幹事長
△ 会計

(令和3年1月26日現在)

勢風会 (6人)	志誠会 (6人)	新政いせ (4人)	公明党 (2人)	日本共産党 (1人)	祥山会 (1人)	洗心 (1人)	友友会 (1人)	信貫 (1人)	野崎りゅうた (1人)
◎ ○ △	◎ ○ △	◎ ○ △	◎ △ ○	◎ △	◎ △	◎ △	◎ △	◎ △	◎ △
藤原清史	中村功	上村和生	吉井詩子	楠木宏彦	小山敏	鈴木豊司	宿典泰	品川幸久	野崎隆太
世古保真	福井輝夫	西村和夫	辻孝記						
久保真	野口佳志	宮崎誠							
北村勝裕	井村貴志	宮崎誠							
吉岡正一	岡田善行	宮崎誠							
山本裕一	山本裕一	宮崎誠							

伊勢市の新型コロナウイルス感染症対策

＜対策方針＞

- ①**寄り添い**：国・県等の支援が「対象とならない」、「不足する」、「間に合わない」生活者や事業者等を支援する。
- ②**届ける**：国・県、周辺市町等との連携を図り、効果的でわかりやすい事業推進を図る。
- ③**迅速に**：最も市民に近い自治体として、状況を把握し、「今」必要な対策をスピード感をもって実行する。

令和2年1月31日 市対策本部の設置

■ 初動対応 令和元年度予算・令和2年度当初予算にて対応

1. 感染を防ぐ対策

＜感染防止対策＞

- 予防啓発・消毒対応
- 小中学校等の休校
- 観光来訪自粛要請
- 市主催行事の延期・中止

＜医療体制確保＞

- 市立伊勢総合病院の医療提供体制整備 など

2. 暮らしを守る対策

＜市民生活を守る＞

- 保育所等の開所継続
- 税・料の猶予・減免 など

＜事業活動を支える＞

- @伊勢アクション
- 市役所等での販売支援 など

＜必要な情報を伝える＞

- 各種相談窓口案内
- 在住外国人への情報発信
- デマ、人権侵害への対応 など

3. 業務継続対策（BCP）

- 分散勤務・WEB会議導入
- 窓口フィルム設置・消毒作業
- 避難所対応方針の策定 など

■ 総合対策（第1弾）

令和2年度補正予算（第1号） 130億547万6千円

4月27日
市長専決処分

- 国・県の対策を届ける対応
 - 特別定額給付金（10万円）
 - 子育て世帯臨時特別給付金（1万円）
 - 感染症拡大阻止協力金（50万円）

令和2年度補正予算（第2号） 8億6307万9千円

5月14日議決

- ①社会を支える感染防止対策
 - 保育所・幼稚園等の消毒対応
 - 介護・障がい事業所の感染防止支援 など
- ②生活を守る資金・雇用支援
 - 緊急雇用支援
 - ひとり親、学生、失業者への支援 など
- ③事業をつなぐ経済支援
 - 販路拡大、地域応援商品券発行
 - 交付金申請支援
 - 休業要請協力金 など

■ 状況に応じた迅速な追加対応

令和2年度補正予算（第3号） 1917万9千円

5月22日議決

- PCR検査体制の強化
 - 伊勢地区検査センター設置

令和2年度補正予算（第5号） 2億7791万5千円

7月1日議決

- ①国の支援を届ける対応
 - ひとり親世帯臨時特別給付金
- ②感染防止・熱中症対策
 - 保育所・幼稚園等の感染防止追加対策
 - 避難所感染防止対策
 - 学校熱中症対策

令和2年度補正予算（第4号） 5億3803万5千円

7月1日議決

- 教育ICT環境の整備
 - GIGAスクール環境整備事業

■ 総合対策 (第2弾)

令和2年度補正予算 (第6号) 8月11日議決
9億468万2千円

① 市民生活・事業継続支援

≪市民生活支援≫

- 妊産婦育児等支援サービス利用費助成
- 生活困窮者自立支援強化
- 児童虐待防止等SNS相談

≪事業者支援≫

- 小規模事業者応援給付金
- ≪市業務継続対応等≫
- 小中学校教育体制支援 など

② 新たなスタイル・価値の創造

≪感染防止環境整備≫

- 幼・保・小中学校感染防止対策
- 新しい生活様式事業者支援
- 観光地感染防止対策

≪オンライン体制導入≫

- 行政事務デジタル化・家庭学習環境整備

≪地域経済活性化≫

- 観光地等混雑状況配信
- クリエイターズ・ワーケーション促進 など

令和2年度補正予算 (第7号) 10月13日議決
108万7千円

- 成人式開催事業 (分散開催)

令和2年度補正予算 (第8号) 10月13日議決
4億7227万1千円

○ 市民・経済活動の支援・創造 ~ withコロナ対応~

≪地域経済活性化≫

- 中小規模店応援商品券発行事業
- 年末年始混雑緩和事業

≪感染防止環境整備≫

- 不特定多数利用施設感染防止対策

≪実施体制・利用環境の整備≫

- 日本語教室オンライン化事業
- 戸籍住民課窓口混雑状況配信事業
- おかげバスキャッシュレス決済導入事業
- 議会ICT整備事業 など

令和2年度補正予算 (第9号) 12月23日議決
1億8476万2千円

- 病院事業会計繰出金
- 感染症拡大阻止協力金 (追加)
- 指定管理者運営維持負担金

令和2年度補正予算 (第11号) 12月23日議決
6858万3千円

- ひとり親世帯臨時特別給付金 (追加)



3月定例会は、
2月22日~3月19日
 の予定です。

日程等は、開会1週間前から
 ケーブルテレビ、
 伊勢市議会ホームページ
 でご案内します。

また、伊勢市議会ホーム
 ページでも公開します。
 置の予定です。
 小俣図書館へ2月下旬に設
 置の予定です。
 各総合支所、伊勢図書館、
 小俣図書館へ2月下旬に設
 置の予定です。
 各総合支所、伊勢図書館、
 小俣図書館へ2月下旬に設
 置の予定です。

12月定例会の詳細は、
 「12月議会の会議録」をこ
 覧ください。

12月定例会会議録

各種ご案内

表紙の題字は

佐八小学校の皆さんに書いていただいた作品の中から、今回は、濱地楓羽さんの「いせ」を採用しました。



伊勢の好きなところ

私が好きな伊勢の良いところは伊勢神宮の内宮、外宮です。ほかにもおかげ横丁などは伊勢の名所です。私はそんな伊勢が大好きです。

佐八小学校6年 濱地 楓羽

いせ市議会だよりの表紙の題字は、伊勢市内の小学生から募集したものを学校ごとに掲載しています。

次号は、宮山小学校の皆さんの作品の中から採用する予定です。

議会報告会・意見交換会を開催しました

11月26日に議会報告会・意見交換会を開催しました。今回は新型コロナウイルス感染症対策として、参加者の人数制限を行い、14人の方に参加をいただきました。

令和2年9月定例会で審査された令和元年度決算について、市民の皆さんの関心が高いと思われる事項をお伝えした後、質疑応答と意見交換の時間を設けました。

開催当日にいただいたご意見・ご要望等については、今後の活動に繋げるとともに、広報・広聴活動のさらなる充実を図ってまいります。



◆伊勢市駅前市街地再開発 ◆保健福祉拠点施設の入居

伊勢市駅前市街地の再開発、また再開発ビルへの市の保健福祉拠点施設の入居については、平成28年から常任委員会、全員協議会、連合審査会等で議論を続けてきました。

12月定例会では、12階建てビルの5階から7階の3フロアに市の保健福祉拠点施設が入居するために必要な内装工事の設計経費、また20年間分の賃借料が一般会計補正予算(第10号)として計上されました。

12月18日の教育民生委員会では、賛成多数をもって原案どおり可決すべしと決定後、条件付で賛成とする附帯決議案が提出され、賛成多数で可決しました。12月21日の総務政策委員会でも、賛成多数をもって原案どおり可決すべしと決定されました。12月23日の本会議では、3人の議員から反対討論、6人の議員から賛成討論がありました。討論の様子は伊勢市議会動画配信をご覧ください。



12月23日
本会議
配信動画

議案第160号 令和2年度伊勢市一般会計補正予算(第10号)の採決

討論の後、採決が行われ、賛成多数により原案が可決されました。なお、上村和生議員ほか17名から附帯決議の提出があり、賛成多数で可決されました。

5ページに賛否一覧表を掲載しています。

附帯決議の内容

市の保健・福祉政策については市議会も賛同するものであるが、予算執行に当たっては、①拠点施設の機能費用対効果、②将来的な健全経営、③利用者駐車場の確保、④事業内容や費用対効果等の説明、⑤関係機関等との連携を十分留意されることを強く求める。



附帯決議
全文

編集

議会のあり方調査特別委員会
広報検討分科会

会長 吉井 詩子
副会長 久保 真
委員 宮崎 誠

北村 勝
鈴木 豊司
岡田 善行
品川 幸久
小山 敏

浜口和久会長が議長に選任されたことに伴い、吉井詩子副会長が新たに会長となり、久保真委員が副会長となりました。

問い合わせ先

伊勢市議会事務局(本館3階)

〒516-1860
伊勢市岩淵1丁目7番29号

TEL ①15630
FAX ②15631
Eメールアドレス
gikai@city.ise.mie.jp